

## 衛生委員会議事録（80回）

日 時	2024年6月20日 15:00	
場 所	ビデオ会議	
出 席 者	委 員 長	-
	産 業 医	諏訪内医師
	衛生管理者	人事総務部 並木/坂倉
	事 務 局	人事総務部 並木
	委 員	情報システム部 原 店舗マネジメント部 永田 教育企画部 湯田
議 題	ハチ刺傷とアナフィラキシーショックについて	
決 定 事 項 ・ 報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内におけるハチによる志望者数は、年々減っている。</li> <li>・ハチの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>スズメバチ（大きくて毒性や攻撃性が強い）</li> <li>ミツバチ（他のハチより巣が大きい。比較的穏やか）</li> </ul> </li> <li>・ハチ刺傷の症状 <ul style="list-style-type: none"> <li>【刺された直後】 傷口の痛みや発赤。</li> <li>【1,2時間後～数日間】 傷口周囲の痛み、痒み、腫れ。</li> </ul> </li> </ul> <p>ハチ毒に対するアレルギーがあると、全身症状を呈することがある。 全身の痒みや蕁麻疹、くちびるやまぶたの腫れ、喉の痒みや違和感、腹痛や下痢など。 重症例では、呼吸困難、血圧低下、意識障害といったアナフィラキシーショックを起こし、死亡することもある。 (2回目以降の刺傷や、初回でも大量に刺された場合は注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな時は要注意</li> <li>① 黒い服を着ている。 →ハチは黒いものに反応する！</li> <li>② 香水、においの強いシャンプーを付けている。 →ハチが興奮する成分が入っているかも。</li> <li>③ ハチが寄ってきたときに手で払おうとする。 →ハチは動くものに敏感に反応する。</li> </ul>	

・アナフィラキシー治療と予防

ハチ刺傷後全身症状が急速(15分以内)に出現した場合

- ・ 直ちに救急車を要請する！
- ・ 救急車到着までは安静にする。
- ・ 仰向けになって 30 cm程足を挙げる。
- ・ 呼吸が苦しい場合は上体を少し起こす。
- ・ 今までハチ刺傷で全身症状が出現したことがある人はアナフィラキシーの高リスク者の可能性がある。

→自己注射薬(エピペン)の携帯を考慮する。

必要性についてアレルギー科医師に相談を！

・もし刺されたら

①安全な場所へ避難する(最低でも10~20m離れる)。

②針が残っていれば、そっと抜く。

・・・針の根本に毒が残るため、つまんで押し込まないように注意する。針をピンセット等でそっとつまむか、横から払って落とす。

③流水でよく洗い、毒液をしぼりだす。

④水か氷で冷やす。

⑤痛みが強ければ、近くの医療機関を速やかに受診する。